

令和 7 年度みどりっちプラン（緑区区政運営方針）（案）

に対する意見募集の結果について

1. 回答件数

お問い合わせ件数 8 件

ご意見（要旨）項目数 17 項目

2. 意見募集結果

No.	意見該当箇所	ご意見（要旨）	ご意見に対する回答
1	1-3 火災が発生しにくい環境づくりを推進します	自分の土地の枯れた竹を伐採しようとしたら近所の方が自分の土地だと主張して苦情を言ってきた。 山火事になったら一体どうするのか。行政からも注意喚起してほしい。	枯草等を放置すると、放火やタバコの投げ捨て等で火災になる可能性があります。放置された枯草等の管理については、消防署と区役所が連携し、その状況に合わせて注意喚起をさせていただいております。（緑消防署）
2	1-4 資源・ごみの分別推進に取り組みます	ビンや缶の収集ステーションが少ない。 また、缶の持ち去りについて、条例ができるかと新聞で見た。 持ち去りへの対策が必要。	資源ステーションの数が少ないとのことご意見につきまして、資源ステーションは一定世帯数に応じて地域にて設置しているものでございます。そのため、地域の町内会や保健環境委員を通して緑環境事業所にご相談いただきたくお願いいたします。 アルミ缶の持ち去り行為につきまして、本市では、これまでパトロール等の対策を実施してきましたが、通報件数が増加してきていることから、条例の制定も含め対策の検討を進めているところでございます。（緑環境事業所）
3	1-9 災害時に備え各種防災訓練を実施します	防災訓練参加者が自治会の役員の一部だけだった。南海トラフのリスクも高いのに危機感がない。	地域防災力の強化のため、引き続き多くの住民の方に各種防災訓練に参加していただける方法を検討してまいります。（緑区総務課）
4	1-11 消防団員の確保を支援します	公募の拡大だけでなく、抜本的に待遇ややることの改善が図れないと、確保できないと思う。	消防団員の待遇等の改善につきましては、年額報酬の導入、出場手当の拡充、消防団員が着用する服装や資器材の改善など順次行っております。 今後も、消防団の充実強化を目指し、待遇等の改善に努めてまいります。（緑消防署）

5	1-11 消防団員の確保を支援します	これからは若い団員が必要だと思う。ただ募集をするのではなく、区内の高校3年生に対して出前募集授業をしてはどうか。	区内の高校からのご要望を受け防災講話を行った実績もあるため、今後はそうした機会を活用し消防団活動のPRなど普及啓発に努めてまいります。（緑消防署）
6	1-20 市街地の整備をすすめます	鳴海駅前再開発について、災害時に中核となる病院ができるのは良い事だが、魅力ある街にするには、まちの目玉となる、新しく転入する人達が開業する個性ある店が必要だ。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 いただいたご意見につきましては、関係機関に伝えるとともに、今後検討の参考にさせていただきます。（緑都市整備事務所）
7	1-21 誰もが安心して利用できる市バスをめざします	市バスの路線、バス便が少なく、高齢者の通院や買い物に不便を感じている方が多い。主要な駅、病院、ショッピングセンターを回るコミュニティバスの路線を昼間だけでも作ってほしい。	交通局では、地域における日常的な生活の移動手段として、駅や区役所、病院などの公共施設、大規模商業施設などを結ぶ路線として地域巡回バスを運行しております。 地域巡回バスは、各区1系統、支所のある区は2系統で昼間時間帯に毎時1運行を設定しております。 市バス路線の設定につきましては、より使いやすい路線となるよう、お客さまのニーズやご利用の見込み等をふまえて、見直しや検討を行ってまいりました。 今後とも、ご利用いただきやすい市バスとするように努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。（交通局緑営業所） 公共交通空白地である港区西福田学区において、地域主体の取り組みに対する交通支援のモデル地区として、令和6年11月から令和7年2月にかけて新たな移動手段の実証実験を行っており、今年度も引き続き実施いたします。 実証実験を通じて、新たな移動手段の導入可能性について検証を進めるとともに、公共交通空白地などにおける交通課題解決に向けた地域主体の取り組みに対する支援について検討を進めてまいります。（住宅都市局）
8	2-6 子ども会への支援を推進します	こども会に関して、保護者が運営や会議の出席などを負担に感じる中、月1回の会議が必要なのか。どのような方が出席するのか。	この会議は、“緑区地域子ども会育成連絡協議会”（※）を構成する学区の子ども会の代表者などが、主に同会に関する行事や学区の子ども会運営について不可欠な協議・情報共有を行う場ですので、同会のスケジュールを踏まえ、会議が必要となります。 今後も、会議の負担軽減に向けて関係者の意向を踏まえ、インターネット等を活用して効率化を推進して

			まいます。(緑区民生子ども課) ※個々の地域子ども会をサポートするとともに、地域子ども会相互の連絡協調を通して子ども会活動の支援を行う会
9	4-4 ポールウォーキング講座をはじめとした様々な運動講座を開催します 5-1 緑区クアオルト®健康ウォーキングを開催します	ポールウォーキングとクアオルトウォーキングはどちらもウォーキングであり、一本化できないか。	ポールウォーキングは、ポールの使用により体重を分散させるため安定性が高くなることで転倒事故防止につながり、また足腰への負担軽減と姿勢改善効果が得られる、坂や丘陵地の多い緑区に適したウォーキング法でございます。緑区クアオルト®健康ウォーキングはドイツのクアオルト(療養地)で治療に利用されている療法を基に考案された、生活習慣病の予防やメンタルヘルスの改善だけでなく、緑区の自然や貴重な歴史文化資源を感じることができるウォーキング法でございます。 緑区では区独自の取組みとして、これら2つのウォーキング事業を掛け合わせた「緑区クアオルト®健康ウォーキング WITH ポール」を実施しております。 (緑区地域力推進課・緑保健センター)
10	5-2 緑区ルネッサンスフォーラムの活動を通じて、緑区の歴史的・文化的な魅力を発信します	歴史的、文化的に誇れる地域である大高駅、鳴海駅を中心に名古屋の目玉になるような観光地として人を呼び込むにはどうしたら良いか、教育機関や若者のアイデアを全国に向けて広く募集したらどうか。この歴史ある土地に関心を持っている企業もあると思う。また、緑区に劇場を誘致したらどうか。全国から人を呼び込む工夫をお願いしたい。	緑区では、緑区ルネッサンスフォーラムが行う散策会や歴史イベントを通じ、緑区内の豊かな歴史文化資源を活用・発信し、区民が地域の魅力を再発見し、地域への愛着を醸成するよう努めております。 また、ご指摘のように緑区には、大高や鳴海、有松、桶狭間など、貴重な歴史文化資源を有します。また学校や若い世代、企業との連携は重要な視点と考えております。 こうした視点に基づき、地域観光の推進事業として、若い世代への波及をねらった「若者世代による緑区魅力発信事業」、「映画を活用した地域プロモーション事業」、飲食店等との連携を目指す「美・食・健幸ウォークによる魅力発信事業」、など新しい魅力発信も行い、こうした歴史文化資源を全国にPRしてまいります。 劇場誘致についても、緑区には緑文化小劇場など相当規模を有する施設があることから、その活用を図りつつ誘客に努めてまいります。 この度いただいたご意見を参考にさせていただき、今後活かしてまいります。(緑区地域力推進課)

11	5-3 緑区観光推進協議会の活動を通じ、「住んでよし、来てよし」の緑区を実現します	緑区の映画について、区内何カ所で上映、観客数何万人、売上げ何万円などの目標は掲載しないのか。目標がない映画は税金の無駄遣いではないのか。 緑区の桶狭間の魅力について、豊明市では桶狭間祭りを大々的にやっているが、緑区はその祭りについてどういうスタンスなのか。緑区は桶狭間についてどうPRしていきたいのか。	緑区制 60 周年記念映画「エム 60 ザ・ウォーリア」は、区内において培われてきた地域の魅力及び人のつながりを継承・発展させ地域の活性化を図ることを目的とし制作したものであるため、観客数等の目標を定めておりません。この作品をより多くの人にご覧いただける機会を検討してまいります。 桶狭間は、「桶狭間の戦い」で著名な地であり、全国的に高い知名度を有します。豊明市では活発に PR されていると認識しております。緑区においてもその知名度を活用し、桶狭間古戦場保存会とも協力して、PR に努めてまいります。 この度いただいたご意見を参考にさせていただき、観光推進にあたっては、他市町村の好事例を参考にすることや、自治体間の連携なども検討し、今後も戦略的に進めてまいります。（緑区地域力推進課）
12	5-3 緑区観光推進協議会の活動を通じ、「住んでよし、来てよし」の緑区を実現します	映画について、ただの戦い映画ではないか。区外の人が見たいという内容か。緑区には桶狭間の戦い、絞りの町並みなど歴史的、全国的に有名な歴史や場所がある。そのようなことを積極的に PR すれば、住んでよし来て良しに繋がるのではないのか。	映画の内容につきましては、名古屋市との合併に至るまでに様々な対立があった史実を元とし、エンターテインメント性も重視したフィクションとして制作したものでございます。また、区の内外に向けた緑区の魅力発信に資するため、オール緑区ロケというコンセプトで、区内における様々なロケ地で撮影を行ったり、映画の上映にあわせて、緑区の歴史や魅力を説明させていただいたりするなど、区内外の方に楽しんでいただけるよう努めております。 この度いただいたご意見を参考にさせていただき、今後は様々な事業を通じ、魅力あふれる「住んでよし、来てよし」の緑区の実現を目指してまいります。（緑区地域力推進課）
13	保健環境委員について	委嘱の仕方を変えてほしい。費用弁償の金額をもう少し上げ、希望される方たちで行ってほしい。町内では断れない、交代してくれない等で何年も続けており、高齢化が進んでいる。希望者登録制にしてほしい。	保健環境委員の委嘱については、規則及び選任要綱（委嘱期間 R6.4.1～R8.3.31）に基づき実施しております。委員の担い手不足については、課題として認識しております。現在、当面の対応策として、年齢要件の緩和が検討されております。費用弁償の増額要望については、関係局にお伝えいたします。（緑保健センター）
14	全体を通して	今回のプランを閲覧する際に面倒で見づらいので、添付ファイルで公開するのではなくホームページ等に文章をそのまま載せるようにしてほしい。せっかく	みどりっちプランは、内容を分かりやすくするために、文章だけでなく図や表を用いて、記載をしておりますので、Web ページに直接掲載すると、端末や閲覧ソフトによってレイアウトが崩れる等閲覧しづらくなる可能性がございます。そのため、レイアウトが固

		区政に興味を持っても、閲覧するのに手間がかかり途中で閲覧を諦めてしまうケースが多々あるだろうと思う。情報へのアクセスのしやすさは、結果的に区政への関心や改善、運営そのもののへの参加にも繋がると思うので是非ご検討をお願いしたい。	定されるPDF形式で公開しております。いただいたご意見も参考にさせていただき、より見やすい形となるよう検討してまいります。ご理解賜りますようお願いいたします。（緑区企画経理課）
15	全体を通して	目標値がない項目については、すべて目標設定が必要だと思う。	各取り組みの目標につきましては、原則として定量的な目標設定をしておりますが、定量的な目標設定ができないものなど目標設定が難しい場合、目標の記載はしておりません。各取り組みの進捗を確認するためにできるだけ定量的な目標設定をするよう努めてまいります。（緑区企画経理課）
16	—	緑市民病院付近に住んでいるが、大きい道路を挟んで真向かいに葬儀場が建設されており、患者さん等へのメンタル面での悪影響、頻繁な車の出入り等多くの心配な問題がある。建築許可を出した名古屋市に対しても調査の怠慢と怒りを感じる。学校、幼稚園、保育園、病院、役所、図書館周辺には葬儀場建設はできないという条例を作してほしい。葬儀場は必要だが、相応しくない場所があると思う。行政が建設許可を出さない、という流れを作らなければ、今後泣き寝入りする区民が増えるだけだ。	都市基盤の整備状況や地域の特性を踏まえつつ、用途地域などの適切な運用による土地利用の規制・誘導に努めているところでございます。 これらの規制に適合することが確認された建物については建てることができますが、状況に応じて事業者等に対し周辺住民等への丁寧な説明を行うよう促しているところでございます。 加えて、地区の特性やニーズに応じた土地利用、建物などに関するルールを定める地区計画や住民等の合意に基づいたまちづくりのルールを定める建築協定などの制度もございます。（住宅都市局）
17	—	若者の選挙参加について、区内の高校では生徒会の選挙をしていると思うが、その選挙に実際に使っている投票箱や書く台を貸出し、選挙を身近に感じてもらう施策を方針に盛り込んでほしい。	ご意見をいただきありがとうございます。名古屋市では、選挙に対する市民の皆様の関心を高めるため、投票箱など選挙資材の貸し出しを行っております。また、区内の高校等において、選挙を身近に感じていただくために市政出前トークや実際に投票箱等を使った模擬投票を行っております。引き続き、選挙を身近に感じていただけるよう啓発活動に取り組んでまいります。（緑区総務課）